

2007年3月10日(土曜日)

教育、福祉など「暮らしの質」向上を目指して

県の平成19年度当初予算は、先の2月定例県議会で可決、成立しました。予算の規模は、一般会計、特別会計、企業会計の合計で4954億3千万円余となっており、18年度当初予算と比べ8.9%減となっています。

これは、今年4月に知事および県議会議員の選挙が行われるため、今回は継続的な事業を中心に予算化し、政策的な事業については、選挙後の補正予算で盛り込むこととしたためです。

しかし、福祉、教育など県民生活に密接に関わり、国の制度改革等に伴って年度当初から実施しなければならないもの、北陸新幹線や福井豪雨災害対策など事業の早期実現を図る必要があるものなどについては、円滑な事業の実施に支障が生じないように盛り込みました。

新年度へキックオフ

平成19年度当初予算 総額4,954億円

平成19年度当初予算の規模

| 会計区分 | 19年度当初予算額 | 対18年度当初予算額比(%) |
|------|-----------------|----------------|
| 一般会計 | 4,438億4,275万7千円 | 90.5 |
| 特別会計 | 194億6,336万7千円 | 99.5 |
| 企業会計 | 321億2,586万3千円 | 94.9 |
| 計 | 4,954億3,198万7千円 | 91.1 |

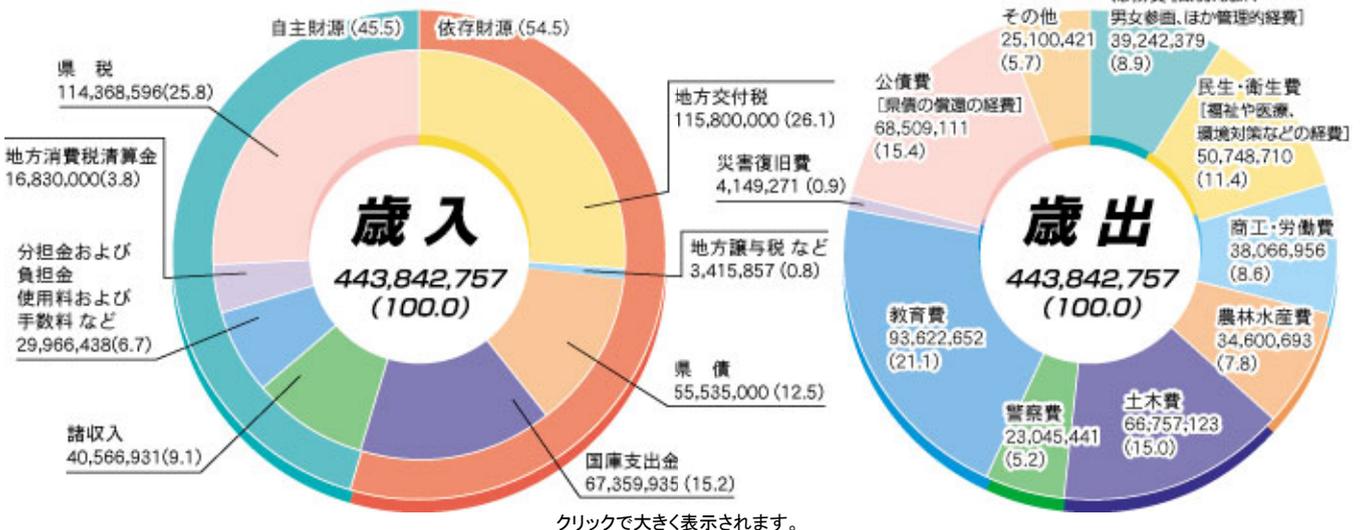
| | | |
|----------|---------------|--------|
| 公債管理特別会計 | 863億3,303万1千円 | 19年度新設 |
|----------|---------------|--------|

公債管理特別会計とは？

平成9年度に発行した県債が19年度に借り換え時期を迎えます。これは20年償還、10年目に借り換えという条件で発行しているためです。この借り換えは借入の総額に影響はありませんが、返済と借入を同時に行うため、一時的に公債費が増加し、一般会計本来の規模がわかりにくくなります。そこで、一般会計から分離して適正に管理を行うもので、既に35の都道府県が設置しています。

※県債…県が学校や病院、道路や河川整備など多額の費用を一時に必要とする建設事業を行うとき、財源確保と負担の公平化を図るため、長期の資金借入れを行うもの。

一般会計の内訳(単位:千円、%)



主な新規事業

実感できる豊かさ、安全安心を

●子育てサービスの充実

放課後子どもクラブ

子どもたちが安心して、充実した放課後を過ごすことは、子育ての大切な要素です。

このため、現在の「放課後児童クラブ」と「地域子ども教室」の設置箇所や開催日数等を拡大するとともに、県独自に各校区ごとに設置する地域・学校協議会が中心となり、「放課後子どもクラブ」として一体的に企画運営します。



「地域子ども教室」の一つとして開かれている「お年寄りとの交流教室」(武生東公民館)

●教育の充実

元気福井っ子笑顔プランの完成

「元気福井っ子笑顔プラン」に基き、県独自で教員の配置を進めてきました。19年度はさらに54人の教員を増員し、中学校1年生で30人以下の学級編制とするなど、小学校6年生から中学校3年生で少人数学級編制を実現します。

また、小学校3年生から5年生でチーム・ティーチングや課題別の学習指導などを実施するとともに、小学校1・2年生で学校生活を支援する非常勤講師等を配置し、各学年の特性に応じたきめ細かな教育体制の充実を図ります。



授業担当と生徒対応の2人で進める
チーム・ティーチングの様子(美浜中学校)

スクールカウンセラーを全中学校に配置

いじめや不登校の問題には、専門家の適切なアドバイスが不可欠です。4月に新たに5校にスクールカウンセラーを置くことで、県内76の中学校全てにカウンセラーが配置されます。

また、これまで実施してきた全教職員への「いじめ問題対応の手引き」の配布や、いじめに関する24時間電話相談などを通して、今後とも、いじめの根絶に向け、総合的に取り組みます。

法人化で新たなスタート 県立大学

今年4月から県立大学が公立大学法人としてスタートします。これによって、カリキュラムの編成や研究の推進など具体的な運営について、大学の自主性、自立性が大きく拡大します。

例えば、県から運営に要する費用を交付するほかに、大学独自に企業から研究を受託したり、新たな講座を設置して収入を増やすことも可能になります。大学が創意工夫して、県民や企業のニーズに応えながら財政基盤を強化し、新しい可能性を広げていくことが期待されています。



4月に公立大学法人としてスタートする福井県立大学

●治安の向上

空き交番をなくし、パトロールを強化

刑法犯認知件数の減少率や刑法犯検挙率が全国一となるなど、治安はこの4年間で大きく回復しました。

今後は皆さんが安全安心をより実感できよう、交番相談員を新たに9人増員し、県内39箇所の全交番に配置することにより、空き交番をなくし、街頭パトロールの充実を図り、犯罪を未然に防ぎます。



安心の実感を高めるため、街頭パトロールを充実

● 県民が信頼できる医療、福祉の充実

医師の確保に向けて

全国的に医師不足が進むなか、本県においても、内科や産科、小児科等の診療科目や嶺南地域などで医師確保が課題になっています。

このため、試験合格から3年目以降の後期研修医に、6か月間の研修機会を提供するかわりに、県が指定する病院等に一定期間勤務する制度を設け、医師の県内定着を目指します。

また、育児を行う女性医師や看護職員の離職を防ぐため、24時間保育も含め、病院内の保育所設置に対して支援を行います。

さらに、福井大学医学部へ本県出身学生を対象とする推薦入学枠の設定を働きかけるとともに、民間事業者による嶺南勤務の医師の奨学金制度を広く周知し、民間とも連携して本県の医師確保に努めていきます。



病院内の保育所整備などを支援し、女性医師等の定着を目指します

障害者の負担を軽減し、自立を支援

障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援することを目的とする「障害者自立支援法」の円滑な実施を図るため、利用者負担のさらなる軽減や事業者に対する激変緩和措置を実施します。

● 利用者負担上限額の引き下げ

負担上限額 1/2 → 1/4

● 軽減対象世帯の拡大

市町村民税非課税世帯 → 世帯収入600万円

● 入所授産施設利用者の手元に残る工賃の拡大

● 障害者施設運営の安定化支援

法施行前の報酬額(収入)の80%保障 → 90%保障

● 通所サービスの利用促進

送迎サービス経費に助成

● 農村集落の維持と農地の保全

豊かな農地の保全に向けて

国では、農業の効率化と併せて、農村集落の維持と農地等が持つ環境保全機能を守るための新たな対策を19年度にスタートさせます。

これに伴い、県でも農家以外の方も含めた地域住民が一体となって行う農地や用水路などの維持、河川の掃除や草刈などの活動、また、農薬や化学肥料を減らした環境調和型の営農活動を支援します。



国土を支える豊かな農地を守っていくための様々な活動を支援。
写真左は日本の棚田百選に選ばれた日引の棚田(高浜町)

● まちづくり

街に賑わいを 県民ホールが開館

北陸新幹線の福井駅部工事が進むなか、福井駅東口で建設されている手寄地区再開発ビル「AOSSA(アオッサ)」が4月19日にオープンします。ビル7階には、消費生活センターや放送大学など、現在の県民会館の機能が移転するほか、8階には570人収容の「福井県県民ホール」が新たに開館します。

4月19日～22日は、開館記念事業としてプロ歌手等による公演とともに、一般公募団体を含めた県民参加型の催しを開催します。



3月4日に行われた県民ホールの事前見学会の様子

10月供用開始 福井駅西口地下駐車場

福井駅周辺での路上駐車による交通渋滞を緩和し、中心市街地の交通の安全と円滑化を図るため、平成12年度から進めている西口の地下駐車場が今年秋に完成します。管理運営には指定管理者制度を導入し、10月1日から供用を開始する予定です。

全国大会で本県をアピール

●全国大会の開催準備

食育推進全国大会（6月9日～10日・サンドーム福井）

昨年発行された我が国初の「食育白書」に、本県の「高校生食育王選手権」や小浜市、鯖江市の事例、石塚左玄のコラムなどが取り上げられました。

また、栄養教諭の配置など、全国のモデルとなる本県の施策や地道な取り組みが評価され、食育推進全国大会の開催が決まりました。

この大会を契機に、本県の特徴ある食育の取り組みを全国に発信し、福井から食育を国民運動として盛り上げていきたいと考えています。



昨年の第1回食育大阪大会では、ブースを設け本県の健康長寿や食をアピール

献血運動推進全国大会（7月上旬・サンドーム福井）

本県では、献血実績が年間計画者数をほぼ毎年上回り、また、40歳代、50歳代の献血者の人口比がそれぞれ全国2位と全国1位と、社会の絆が強い福井の姿が現れています。一方、若年者の献血に対する協力は中高年と比べると低く、課題となっています。

献血先進県福井の姿もアピールしながら、献血の大切さを参加者、全国に訴え、意義のある大会にしたいと考えています。

健康日本21全国大会（9月7日・県立音楽堂）

健康に対する国民一人ひとりの自覚を高め、健康増進の取り組みを促進するために開催されるこの大会。

全国トップレベルの健康長寿とこれを支える福井のライフスタイルや食、豊かな自然など福井の魅力を全国に強くアピールしていきます。

全国植樹祭（平成21年春）

昭和37年、当時の丸岡町で開催されてから47年ぶりに、第60回という節目となる全国植樹祭が21年春に開催されます。

今年7月には実行委員会を設立して、具体的な準備に取り組むため、当初予算には、式典会場の調査設計や植樹用の苗木の育成費用、大会シンボルマークの募集経費などを計上しました。

開催理念：

「森林や自然の恵みを再確認し、
福井の森づくりとふるさとづくりを未来に受け継ぐこと」

テーマ：

「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」

●連続テレビ小説「ちりとてちん」の舞台に

今年10月からのNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」の舞台が福井県に決まりました。

「福井県出身のヒロインが大阪で落語家になる」というストーリーで、ドラマと連携して本県を全国にアピールする絶好のチャンスです。19年度の早い時期に、県内の様々な団体が協力する推進組織を設置する予定です。

●継体大王即位1500周年

今年は福井ゆかりの継体大王が即位して1500周年にあたります。

既に県内の自治体や民間団体が様々な取り組みが始まっており、県でもこうした団体等とともに、大王にまつわる歴史、伝説、ロマンを全国に広くアピールしていきます。



継体大王と照日の前の花がたみ像（越前市味真野苑）

主な継続事業

元気な産業

●雇用

「福井元気宣言」により、この4年間、景気、雇用の回復を最大の課題として施策を進めた結果、現在、県内の失業率は日本一低く(18年10～12月期、1.8%)、有効求人倍率も1.4倍を超えています。

今後は、県内企業の優秀な人材の確保が課題となっており、「ふくい雇用セミナー」の開催など、本県出身者の県内就職支援に力を入れていきます。

また、若年層の雇用促進や離職防止のため、引き続き、就職相談から就業までのワンストップサービスを行う「若者就職支援センター(ジョブカフェ)」を運営します。



気軽に就職相談ができる若者就職支援センター(ふくいジョブカフェ)

●農林水産業

近年、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、県内農業の競争力を強化していくことが重要な課題です。

県では、国が17年10月に策定した「経営所得安定対策等大綱」に基づく農業の効率化を進めるため、企業的経営への移行や認定農業者への農地の集積を支援します。

また、農産物の付加価値を高めるため、新品種イクヒカリの全国への普及など、福井米の販路拡大を引き続き進めます。

さらに、新たな農林水産業の担い手として育成に力を入れてきた、女性や熟年農業者、生産者グループの新たな商品開発等を引き続き支援します。

経営所得安定対策大綱とは？

次の3本柱で成り立つ新たな農政の基本方針です。

・品目横断的経営安定対策

生産品目(米、麦等)ではなく、担い手に着目した経営支援を行うとともに、諸外国との収入格差を是正する直接支払いを導入する。

・米政策改革推進対策

品目横断的経営安定対策(直接支払い)の導入に併せ、米について農業者、農業者団体の自主的な生産調整を行う。

・農地・水・環境保全向上対策

農業の持続的発展の基盤となる農地・水・環境の保全を図る。

元気な社会

●少子化対策

本県は平成17年の出生率が全国第2位となり、平成18年版の国の「少子化社会白書」では、その一つの要因として、「ふくい3人っ子応援プロジェクト」が大きく取り上げられました。

これは、3人以上子どものいる世帯の小学校就学までの医療費無料化、第3子以降の3歳未満の子どもの保育料の無料化、病気療養中の子どもを病院等で一時的に預かる事業など、3人以上の子どもを持つ世帯の経済的負担を軽減するもので、19年度も引き続き事業を進めます。

●教育環境の整備

電源交付金を活用し、県立学校のリフレッシュ工事(改装工事)を一層促進することで、施設の耐久性の向上を図り、引き続き快適な学習環境の確保を進めます。

また、私立高等学校の特色ある教育の推進や評価の向上に係る事項に着目し、取組みに応じて加算補助することにより、各校の魅力アップを支援します。



英語で福井の良さを語る発表会を開いた
仁愛女子高等学校。
今年度から県が進めている
「考福学」の取組みも広がっている

元気な県土

●北陸新幹線

北陸新幹線の福井駅部の工事に、新年度予算として国で昨年度と同額の30億円の事業費が計上されました。県負担分として10億円を計上し、20年度末の完成に向けて、福井市と連携を図りながら事業を進めます。

また、「福井駅付近連続立体交差事業」については、17年4月にJR高架化が完成し、18年度末現在、事業費ベースで全体の約85%が完成しています。残るえちぜん鉄道の高架化を進めるため、えちぜん鉄道の車両基地整備に支援を行います。



平成20年度末の完成に向けて、着々と工事が進む北陸新幹線福井駅部

●舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道

小浜西～小浜間は23年度、小浜～敦賀間は26年度の完成が予定されている舞鶴若狭自動車道。現在、小浜西～敦賀間全体の約96%の用地を確保しており、予定より少しでも早く開通できるよう、引き続き、関係会社に強く要請していきます。

また、中部縦貫自動車道では、永平寺西～永平寺東間が今月17日に供用開始予定です。上志比～勝山間も20年度中の供用開始を目指し工事が進められています。福井～大野間の永平寺大野道路全線については、概ね10年後までの開通を目指すとともに、大野油坂道路については19年度政府予算で整備への道筋が示されるよう、国に強く要請を行っていきます。



今年1月、小浜・敦賀間初のトンネル工事に着工（敦賀市山地区）

●河川（足羽川）激甚災害対策特別緊急事業

福井豪雨災害で被災した河川や道路等の公共施設は、ほぼ復旧が完了しました。

足羽川の激甚災害対策特別緊急事業については、20年度の完成に向けて、日野川と足羽川の合流点から板垣橋までの延長6kmで掘削工事を進めています。現在、右岸、左岸とも、九十九橋までの約3.2kmで掘削が完了しており、3月中にはJR橋の下流地点まで掘削が完了する予定で、治水の安全度は大きく向上します。

また、木田橋および泉橋の架け替えのための橋台や橋脚の設置工事も順調に進んでいます。

なお、この激特事業は、当初全体事業費約300億円を想定していましたが、工法の見直しや土砂の受入れ先の変更など、あらゆる方法でコスト縮減に努めてきた結果、概ね100億円程度の縮減が可能と見込んでいます。



再度災害の防止に向け、平成20年度の完成を目指す激特事業（泉橋の架け替え工事）

●エネルギー研究開発拠点化計画

昨年11月に策定した19年度の推進方針に基づき、国、電力事業者、大学などと連携し、陽子線がん治療施設の整備や原子力分野の人材育成、原子力・エネルギー関連技術の研究開発など「エネルギー研究開発拠点化計画」を着実に推進します。



若狭湾エネルギー研究センターの施設を見学する学生たち（敦賀『原子力』夏の大学）

元気な県政

●ビジットふくい

観光は宿泊など直接的な経済効果のほか、ふくいブランドの発信や本県への定住者の誘致など裾野が広い産業です。このため、県では平成16年に「ビジット“ふくい”推進計画」を策定し、さまざまな事業を推進しています。

19年度においても、観光客の誘致拡大や民宿の魅力づくり、地域ブランドの創造など、総合的に施策を進めます。



素朴な味わいが人気の農家民宿。ふくいの魅力を国内外に発信し、観光客の誘致を拡大を図ります

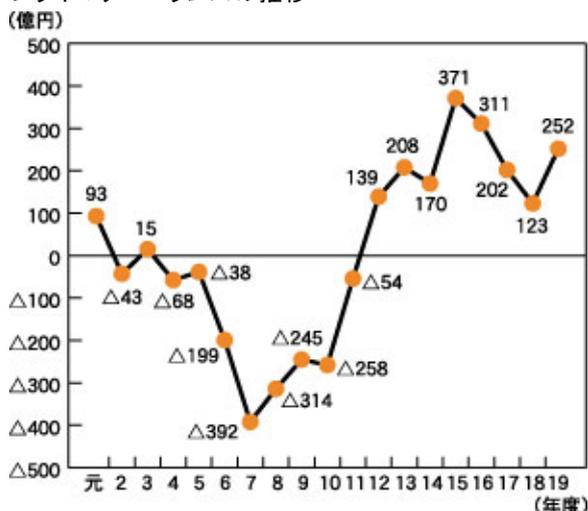
行財政改革実行プランの推進状況

行財政改革実行プランの推進状況

| 項目 | | 行財政改革 実行プランの目標 | 平成19年度 当初予算 |
|----|-----------------------------------|-------------------|----------------|
| 基金 | 残高 | 165億円 | 262億円 |
| | 取崩額 | 85億円 | 60億円 |
| 財政 | 自主財源比率 | 40%以上 | 45.5% |
| | 経常収支比率 | 95%以下 | 94.0% |
| 指標 | 起債依存度 (臨時財政対策債・ 豪雨災害対策分を除く) | 10%以下 | 7.5% |
| | 起債制限比率 | 15%以下 | 13.0% |
| 目標 | プライマリーバランス (臨時財政対策債を除く) | 黒字を維持 | 黒字 |

※プライマリーバランス = 借入金の償還金 - 借入金

プライマリーバランスの推移



県では、平成18年3月に策定した「行財政改革実行プラン」に基き、事務事業の見直し等を積極的に進め、財源の確保と健全財政の維持に努めています。

基金残高は、現時点で計画を上回る262億円を確保しており、自主財源比率など財政指標についても、職員数の適正管理や事務事業の見直しによる歳出抑制、県債発行の抑制により、全て達成できる見通しです。

今後、6月補正予算により、基金取崩額や財政指標は変動しますが、行財政改革を着実に実行していきます。

主要事業

元気な産業

| | | |
|-----------------|--------------------------|-----------|
| 雇用・就職対策 | 若者就職支援センター(ジョブカフェ)運営事業 | 1億476万円 |
| | ふくい雇用セミナー等開催事業 | 537万円 |
| ものづくり・新産業創出 | 「おいしい福井米」販売促進事業 | 3,430万円 |
| | 「イクヒカリ」販売促進支援事業 | 700万円 |
| 福井の豊かさを支える農林水産業 | いきいき女性・熟年農業者活動支援事業 | 1,990万円 |
| | 生産組織高度化支援事業 | 575万円 |
| | 農地集積実践事業 | 1,860万円 |
| | 新 農地・水・環境保全向上対策事業 | 3億1,839万円 |
| | 全国植樹祭開催準備事業 | 4,370万円 |
| | がんばる海業(うみぎょう)支援事業 | 430万円 |

元気な社会

| | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 女性の元気が福井の元気 | ふくい3人っ子応援プロジェクト | 6億8,019万円 |
| | 妊婦健診費無料化事業 | 4,752万円 |
| | 乳幼児医療費無料化事業 | 4億5,295万円 |
| | すくすく保育支援事業 | 1億7,186万円 |
| | | |

| | | | |
|--------------------------|---|------------------------------|------------------------|
| | | 保育対策等促進事業(一部) | 313 万円 |
| | | すみずみ子育てサポート事業(一部) | 397 万円 |
| | | 病児デイケア促進事業(一部) | 76 万円 |
| | 新 | 放課後子どもクラブ応援事業 | 3億1,111 万円 |
| | 拡 | 私立幼稚園預かり保育推進事業 | 3,384 万円 |
| 未来を託す ひとづくり | | 私立高等学校魅力アップ推進事業 | 3 億円 |
| | | 県立学校リフレッシュ事業 | 13億8,672 万円 |
| | 新 | 食育推進全国大会開催事業 | 1,740 万円 |
| | 新 | 動物愛護管理推進計画策定事業 | 83 万円 |
| | 新 | 公立大学法人福井県立大学運営費交付金 | 25億5,271 万円 |
| | 新 | 医師確保総合対策事業 | 1億7,320 万円 |
| 生き生き やさしい福井づくり | 新 | 医療費適正化計画等策定事業 | 286 万円 |
| | 新 | 献血運動推進全国大会開催事業 | 1,872 万円 |
| | 新 | 障害者自立支援特別対策事業 | 2億5,457 万円 |
| | | | |
| 元気な県土 | | | |
| 原子力は 県民の立場に立って | | エネルギー研究開発拠点化の推進 | 9億8,893 万円 |
| 福井は列島のまん中 —より近くより便利に— | | 北陸新幹線建設事業 | 10 億円 |
| | | えちぜん鉄道高架化支援事業 | 1億91 万円 |
| | | 舞鶴若狭自動車道整備推進事業 | 300 万円 |
| | | 中部縦貫自動車道整備推進事業 | 677 万円 |
| 16年7月 福井豪雨災害対策 | | 激甚災害対策特別緊急事業 | 65億3,022 万円 |
| 元気な県政 | | | |
| 新しい福井県政府の樹立 | 新 | ロシアタンカー油流出事故10周年事業 | 130 万円 |
| 夢あるふるさとづくり | | 地域ブランド創造活動推進事業 | 4,062 万円 |
| | 新 | 連続テレビ小説「ちりとてちん」連携推進事業 | 100 万円 |
| | | 「考福学(こうふくがく)」推進事業 | 100 万円 |
| | | 継体大王即位1500周年記念事業 | 326 万円 |
| | 新 | 地方自治法施行60周年記念事業 | 173 万円 |
| | | 民宿の魅力づくり支援モデル事業 | 173 万円 |
| | | 「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業 | 2,500 万円 |
| | 新 | 福井県県民ホール開館記念事業 | 1,763 万円 |
| | 新 | 福井駅西口地下駐車場管理運営事業 <債務負担行為> | 2,679 万円 1億6,247 万円 |
| | 新 | 消防広域化推進計画策定事業 | 50 万円 |
| | 新 | 遺失物管理システム整備事業 | 5,221 万円 |

新…新規事業 拡…事業内容を拡充した事業

詳しい内容は、県のホームページ「平成19年度当初予算」に掲載されています。

【問合せ先】県財務企画課 TEL.0776(20)0234

BACK

